GLOSE 2024 Construction

バージョンアップガイド

[2024の新機能]

2024年8月リリース版

躯体工事

躯体端部関連コマンドの新設

壁端部

「壁端部」コマンドを新設し、RC 壁の端部に対 して小口形状を設定できるようになりました。 壁の上端、下端、始点、終点に設定することが できます。

また、小口の断面形状も自由に作成でき、テン プレートに登録して繰り返し使用できます。

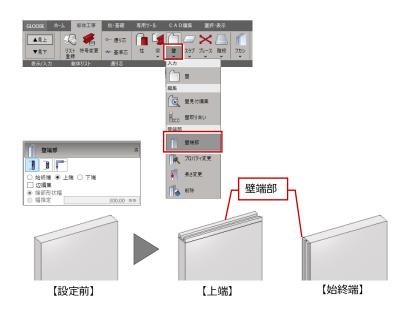
- ※ 上端・下端に小口形状を設定する場合、横フカシ がある RC 壁に対しても設定できます。
- ※ CB 壁、円弧の壁、セットバックした壁には設定 できません。
- ※ 小口形状は壁と一体になるため、小口形状だけを 選択することはできません。

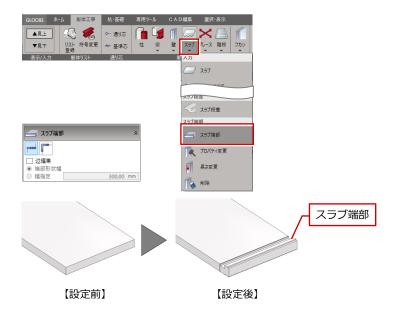
スラブ端部

「スラブ端部」コマンドを新設し、土間、RCス ラブ、片持ちスラブに対して端部形状を設定で きるようになりました。

端部の断面形状は自由に作成でき、テンプレー トに登録して繰り返し使用できます。

- ※ 勾配や段差があるスラブ、円弧部分にも設定でき ます。
- ※ デッキスラブ、フラットデッキスラブには設定で きません。
- ※ 端部形状はスラブと一体になるため、端部形状だ けを選択することはできません。





躯体端部プロパティ変更/躯体端部長さ変更 /躯体端部削除

「壁端部」「スラブ端部」で設定した小口形状を 編集、削除することができます。

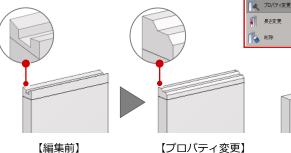
- ・プロパティ変更 小口形状の断面を編集します。
- 長さ変更 小口形状の長さを変更します。
- 削除 小口形状を削除します。



壁端部

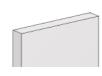
1 壁端部

※「壁」メニュー、「スラブ」メニューから同じコマンドが実行できます。



【プロパティ変更】





プロバティ変更

|| 削除

【削除】

GLOSE 2024 Construction

バージョンアップガイド

[2024の新機能]

2024年7月リリース版

GLOOBE WebViewer

GLOOBE WebViewer

GLOOBE から 3D モデル・図面をアップロードしてウェブブラウザで手軽に確認できるサービス『GLOOBE WebViewer』に対応しました。クラウドサービス『ARCHITREND Drive』の「URL 発行」を利用し、BIM データを LINE やメールで共有でき、利用者はアカウント登録なしで閲覧ができます。設計者・発注者・協力会社・施工業者・職人・その他工事に携わる方向けに、場所を選ばずに BIM データを確認できるビューワーです。意思疎通やチェックにご利用いただけます。













※ GLOOBE WebViewer データ出力・共有には 3D カタログ B プランの契約が必要です。

GLOOBE WebViewer 出力

GLOOBE から BIM データをクラウドサービス 『ARCHITREND Drive』に出力する機能を実装 しました

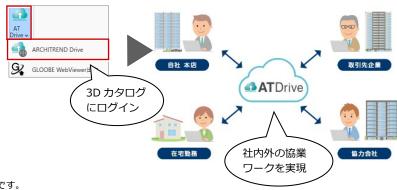
3D モデル・図面・点群・工程計画(GLOOBE Construction で対応)を、簡単にアップロードできます。

※3D カタログ B プランの契約が必要です。



ARCHITREND Drive ファイル管理

クラウド上で多彩な業務データを共有・活用できる 3D カタログのサービス『ARCHITREND Drive』に GLOOBE が対応しました。BIM データ・写真・Word・Excel・PDF など建設シーンで必要な様々なデータを保存し、場所と端末を選ばずにアクセスできます。



※3D カタログ B プラン 1 契約につき 50GB の容量を利用可能です。

※クラウド上から直接 GLOOBE データを開き編集することはできません。GLOOBE のインストールされたパソコンでダウンロードしてご利用いただけます。

GLOSE 2024 Construction

バージョンアップガイド

[2024の新機能]

2024年5月リリース版

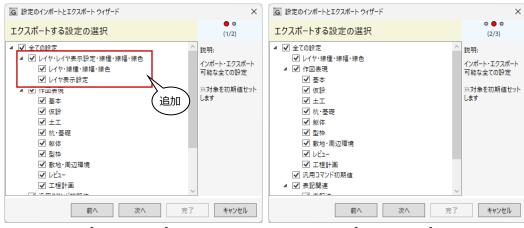
共通機能

レイヤ表示設定を共有可能に

インポート・エクスポートの対象に「レイヤ表 示設定」を追加しました。

これにより、レイヤ表示設定を共有できるようになります。また、データ作成時と同じ表示で 作成できます。

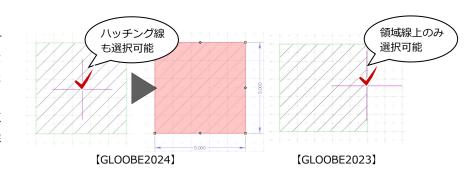


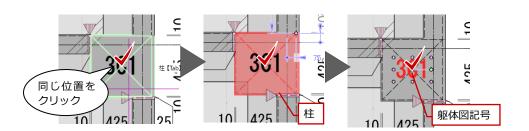


[GLOOBE2024] [GLOOBE2023]

選択し易さの改良

これまで、平面ビューでスラブなど領域部材を 選択する場合、領域線上のみ選択が可能でした が、ハッチング線での選択に対応しました。 また、部材が複数重なっている場合に、同一点 をクリックすると対象が変わるようになり、選 択し易くなりました。





ローカルモデル更新 躯体リスト対応

「ローカルモデル更新」は、1 つのモデルデータを同時に 2 人以上で作業する場合に使用します。データ編集後、保存する前に「ローカルモデル更新」で他のデータ共有者が加筆修正した内容を、共有中のモデルデータに取り込みます。その後、データを保存します。

GLOOBE 2024 Construction では、「ローカルモデル更新」の更新対象として「躯体リスト」に対応しました。これにより、 躯体についての共同編集が可能となります。

※ ローカルモデル更新はオブジェクトのみ対象となります。更新対象オブジェクトは下記の通りです。



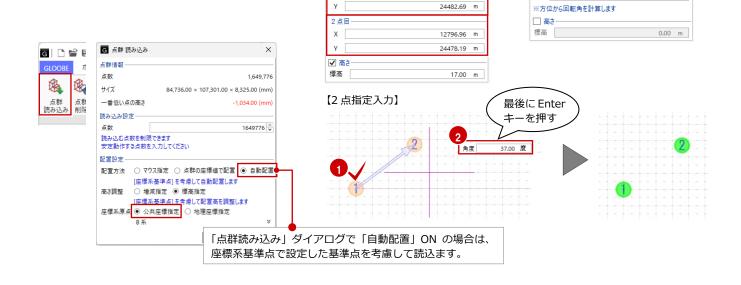
	オブジェクト		
敷地・周辺環境	方位		
	敷地境界・地盤		
	道路・舗装・緑地		
	景観地形、傾斜起伏		
	通り芯、基準芯		
躯体工事・杭基礎工事	躯体リスト ※2024 で対応		
	柱、梁、壁、スラブ、基礎等		
仮設工事	足場マスタ		
	仮囲い、仮設足場等		
土工事	地盤、山留壁、山留支保工等		
型枠工事	型枠、支保工		
建物階構成・階高情報	建物階構成・階高情報		
共通	断面線、立面線、展開視点等		
	カタログ部品、汎用オブジェクト等		

座標系基準点

「2点指定」を追加しました。

「2 点指定」 を ON にすると、座標の 1 点目と 2 点目を設定できます。

これにより、「点群読み込み」から点群データ を読み込むときに、移動や回転をすることなく 正確に手間なく位置合わせができます。



座標系基準点

公共座標系

座標(公共座標系

✓ 2点指定

地理座標系

指定方法

座標系

1点目

Х

「地理座標系」も同様に、 2点指定が可能です。

1点目、2点目

の座標を設定

12796.46 m

座標系基準点

公共座標系

座標 (公共座標系)

□ 2点指定

地理座標系

<未設定>

0.00 m

0.00 m

指定方法

座標系

Х

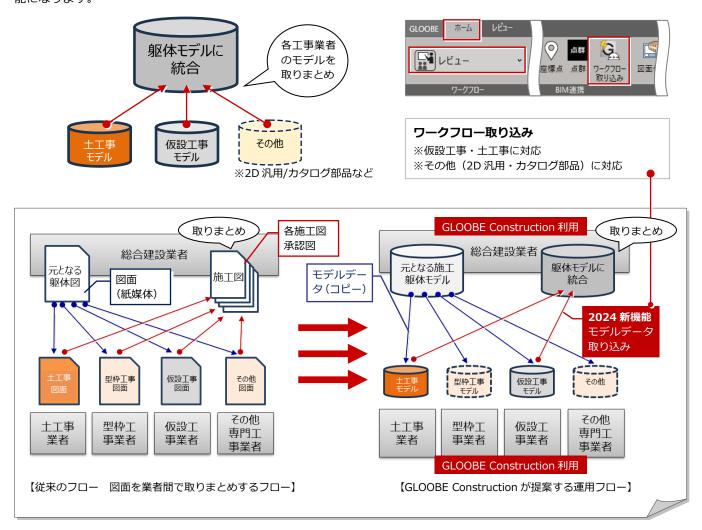
座標点連携

座標系基準点があるとき、公共座標系で表示できるようにしました。 公共座標系での座標値を確認することができます。



ワークフロー統合

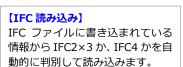
躯体工事や杭基礎工事などが入力されているプロジェクトから、別名保存などしたコピーファイルに入力された仮設工事と土工事のデータ取込みができます。専門工事業者など、仮設工事と土工事を別ファイルで作業分担した場合のデータの統合が可能になります。



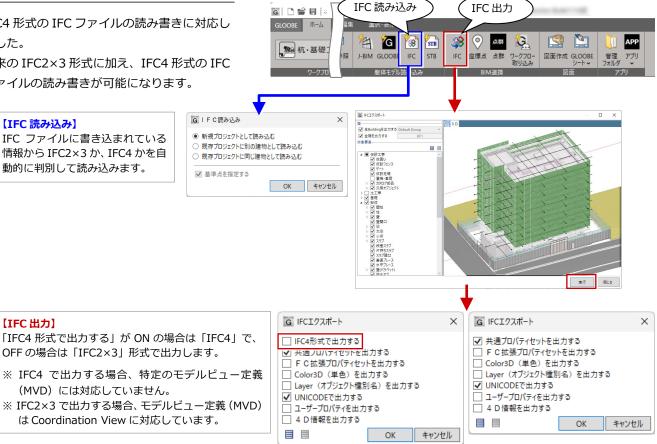
IFC 入出力

IFC4 形式の IFC ファイルの読み書きに対応し ました。

従来の IFC2×3 形式に加え、IFC4 形式の IFC ファイルの読み書きが可能になります。



(MVD) には対応していません。



[GLOOBE2023]

Revit 出力

【IFC 出力】

Revit 出力に対応しました。

Revit の最新バージョン(2024)への出力が可能になります。



[GLOOBE2024]

[GLOOBE2024]

- ※ Revitの「直接形状」オブジェクトとして出力されます。
- ※「Revit 出力」から出力したファイルを「Revit 読み込み」で読み込んだ場合、汎用オブジェクトとして読み込まれます。 専用オブジェクトとして出力していないため、同じ種類の部材としては読み込まれません。

専用ツール

勾配編集の拡張

勾配編集でタイプが「片流れ 基準線方向」の 場合、基準高を設定できるようになりました。 また、片持ちスラブを勾配編集の対象に追加し ました。





[GLOOBE2024]

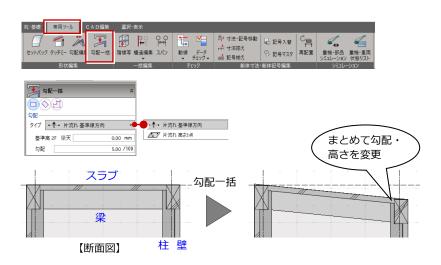
[GLOOBE2023]

勾配一括コマンドの新設

「勾配一括」コマンドを新設し、柱やスラブ、壁の勾配を一括で変更できるようになりました。勾配の変更と同時に、付随する部材の高さも合わせて変更されます。

水勾配設計を行うときなどに活用することが できます。

※ 勾配一括によってできた隙間や部材の高さは、「壁見付編集」や「タッチミー」を使用して編集します。

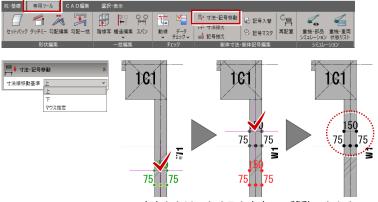


寸法・記号編集の強化

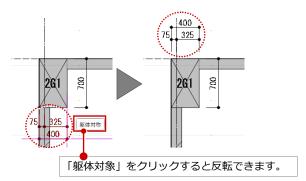
寸法・記号移動コマンド

従来の「寸法移動」コマンドが「寸法・記号移動」として、寸法だけでなく記号、符号の移動や寸法文字の移動も行えるようになりました。 柱や独立基礎の寸法線はワンクリックで反転することができます。

平面ビューだけでなく断面ビューでも編集を 行うことができます。



※ 文字をクリックすると文字のみ移動できます。



再配置コマンド

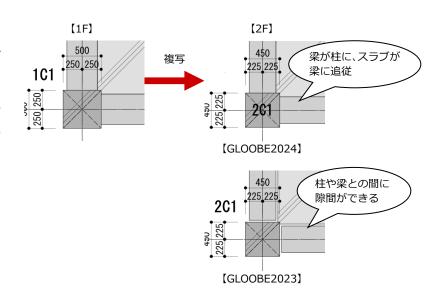
編集した寸法線や記号を初期状態に戻すコマンドを新設しました。



階複写での部材追従

階複写で柱や梁のサイズが変わっても追従す るように対応しました。

階ごとに柱や梁のサイズが異なり、梁やスラブ など躯体面で入力していた時などに、複写先の 階でできていた部材間の隙間ができないよう になりました。



CAD 編集

JWW 書き込み

うになります。

G 塗りつぶし変更

グラデーション

○ テクスチャ

诱過·標準色

任章の色

○ ハッチング(ユーザー)

標準色

塗りつぶしの書き込みに対応しました。 図形や線端形状の塗りつぶしが出力できるよ

※ 図形の塗りつぶしは任意色で出力します。 RGB の値で出力し、透明度は出力しません。

単色

○ シンボル

8888

•

○ ハッチング(システム)

G 色選択



102

RGB 値で

G

×

G 変換設定

□ 目地抜き処理を行う(スペース文字など)

円は 32 分割

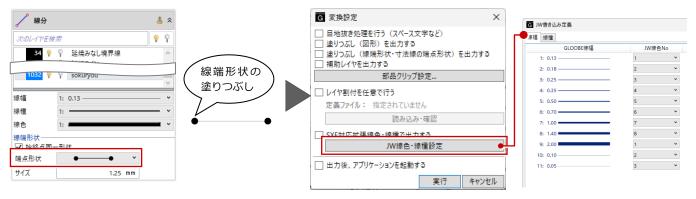
で出力

補助レイヤを出力する

矩形は三角形

2 つで出力

※ 線端形状の塗りつぶしは、GLOOBE 線幅に該当する Jw 線色 No を出力します。



ScG 0.13286832

ScB

16進表記

#FFFF6600

G 変換設定

■ 目地抜き処理を行う(スペース文字など)

□ 塗りつぶし (線端形状・寸法線の端点形状) を出力する

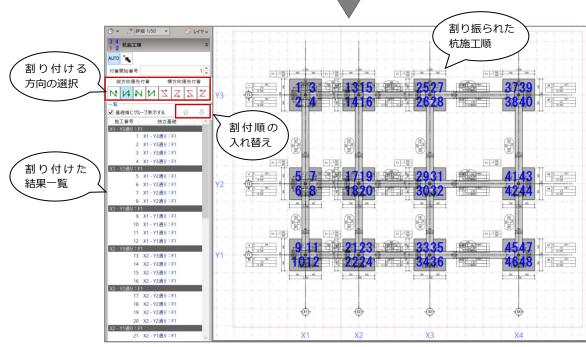
□ 塗りつぶし(図形)を出力する

杭・基礎工事

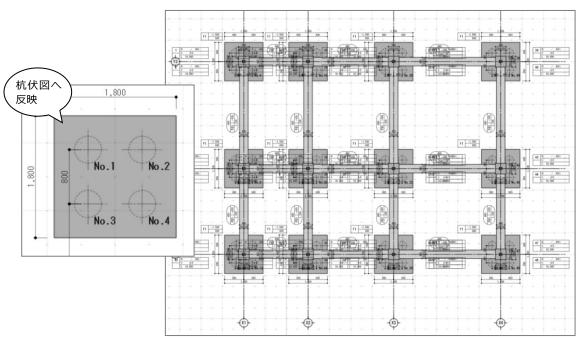
杭の施工番号に対応

杭に施工番号を追加し、自動及び個別で付番で きるように対応しました。杭伏図へ反映しま す。





【杭・基礎工事で杭施工順を割り付けた画面例】

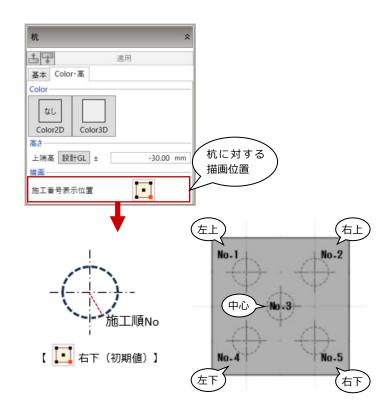


【杭伏図作成の画面例】

施工番号の付け位置は、杭のプロパティで確認・変更できるように対応しました。

※ 杭入力時に施工番号を設定することもできます。

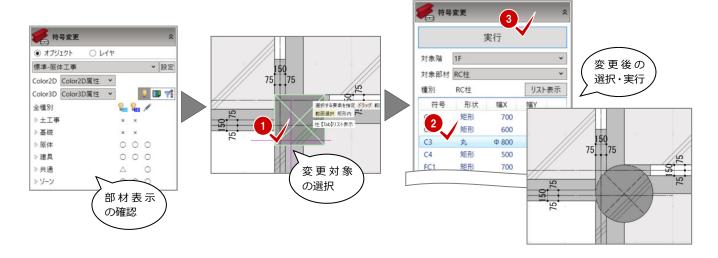




符号変更 UI のパネル対応

設定項目をダイアログからパネル UI に改善しました。部材表示の確認・設定をコマンド実行後に行えるようになりました。

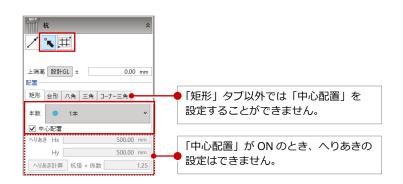




杭の中心配置

入力モードが「要素参照」「要素範囲参照」のとき、杭の本数が1本の場合にへりあきを考慮せず独立基礎の中心に配置することができるようになりました。

今まで杭の入力後に位置を調節していた手間 が軽減されます。



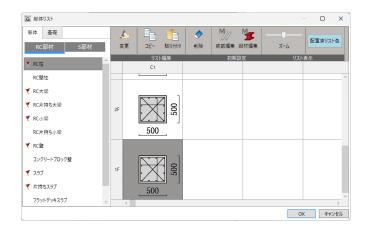
杭・基礎工事/躯体工事

※共通機能

躯体リストの操作性の改善

躯体リストの操作性を改善しました。

- ・十字キーでのセル移動
- ・F2 キーで詳細ウィンドウをオープン
- ・符号の変更時の移動や貼り付け時の選択状態 の維持とビュースクロールに対応
- ・躯体リスト起動時に現階のセルを選択



部材入力の改善

設定した内容を入力済みのデータへ反映できるようになりました。



【杭・基礎工事】



【躯体工事】



梁の入力範囲の改良

梁を「スパン」「要素範囲参照」の入力モードで配置するとき、従来は端部が芯の位置で配置されていましたが、躯体面(柱面・梁面)で止めるようにしました。

勾配梁の場合など、プロパティのレベルと躯体 図記号のズレがなくなります。

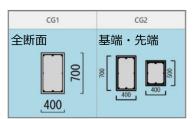
また、「要素範囲参照」で配置するとき、重複配置されないように改善しました。

要素範囲参照 要素範囲参照 (GLOOBE2024) (GLOOBE2023)

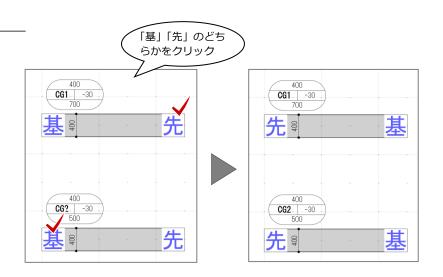
梁終始点入替の改善

「梁」メニューの「梁始終点入替」 にて、片持ち梁の基端・先端の入れ 替えを対応しました。

「全断面」「基端・先端」の形状が入れ替え可能です。



【リスト登録】



フカシの入力対象の拡張

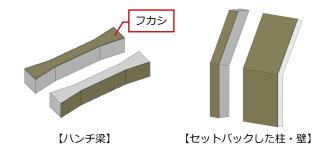
ハンチ梁や片持ち梁に対して、フカシ・増し打 ちが入力できるようになりしました。

また、セットバックした柱に横フカシ・横増し 打ち、セットバックした壁に横フカシが入力で きるようになりました。

フカシ表現の精度が上がります。

- ※ 勾配が設定されているハンチ梁には入力できません。
- ※ 梁の下面が水平でないハンチ梁の下面には入力できません。

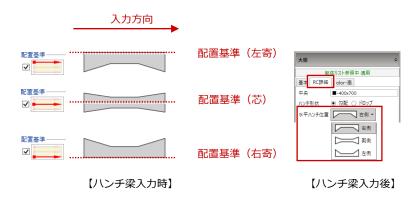




ハンチ梁の拡張

水平ハンチ梁の入力時に、配置基準によって水 平ハンチの位置が変更できるようになりまし た。

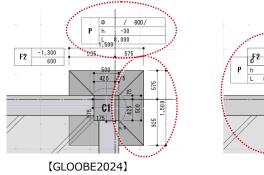
入力後のプロパティでも、水平ハンチ位置を変 更することができます。

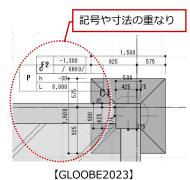


記号寸法の重なり改善

部材の記号や寸法の作図位置を見直し、重なり を減らし位置を調整しました。

図面編集の手間が軽減されます。





躯体図記号の改良

不要な記号の非表示

カスタム項目を使用した記号などで表記されていた不要な記号、() や+などを表記しないようにしました。

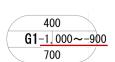




記号からはみ出る文字の対応

記号から文字がはみ出る場合、調整して記号枠 内に納めるようにしました。





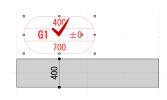
[GLOOBE2024]

[GLOOBE2023]

属性パネルでの凡例表示

記号を選択したとき、属性パネルに凡例を表示 するようにしました。





躯体工事

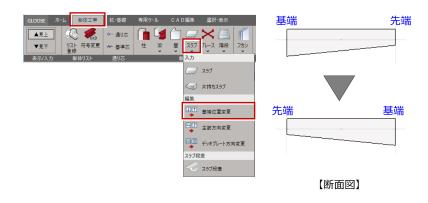
基端位置変更コマンドの新設

片持ち基礎・片持ちスラブの異厚の方向を変更 できるコマンドを新設しました。

片持ち部材の編集の手間が軽減されます。

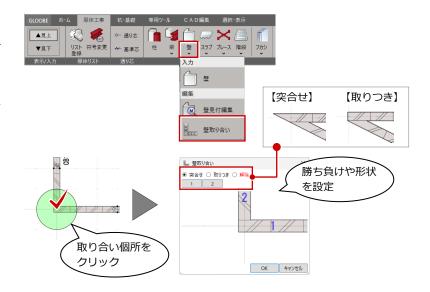
※ 片持ち梁の端部の変更は、「梁」メニューの「梁始終点入替」で行います。





壁取り合いコマンドの新設

壁の取り合い箇所(交差部分や端部が重なる部分)を編集するコマンドを新設しました。 取り合い個所の勝ち負けや形状の設定、取り合いの解除を行うことができます。



壁配置の拡張

入力モードが「要素範囲参照」のとき、従来は 矩形での範囲指定のみでしたが、「矩形範囲」 「角度つき矩形範囲」「多角形範囲」から選択で きるようになりました。

入力作業がスムーズになります。



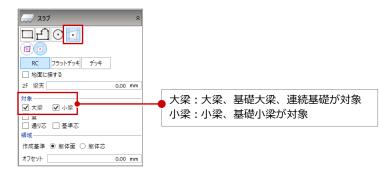


スラブ閉領域入力の改良

スラブの入力モード「閉領域」において、基礎 大梁・連続基礎・基礎小梁を配置対象に追加に しました。

スラブ入力の操作性が向上します。

また、「閉領域」での配置時に、スラブが重複 配置されないように改善しました。



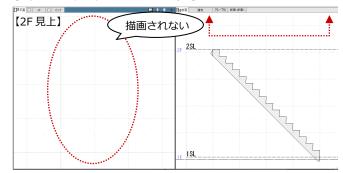
階段の見上げ表示の対応

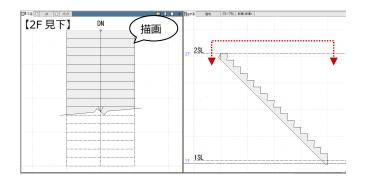
見上表示にした場合に下階に降りる階段を描 画しないようしました。

見上と見下で図面の表現を変えることができるようになりました。

※ スロープも同様です。

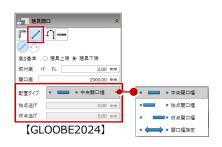
【1階から2階の階段を入力した場合】





建具開口入力の拡張

入力モードが「線分」のとき、配置タイプを選択できるようになりました。配置タイプによって、始点逃げ・終点逃げを設定します。 建具開口の入力精度が上がります。





[GLOOBE2023]

フカシと耐震スリットの取り合い改良

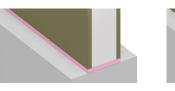
従来、フカシと耐震スリットの取り合い処理は 行われていませんでしたが、取り合い処理を行 うように改良しました。

耐震スリットの表現の精度が上がります。

※ 壁に対して耐震スリットが部分的に配置されている場合は、取り合い処理が行われません。









【GLOOBE2024】

【GLOOBE2023】

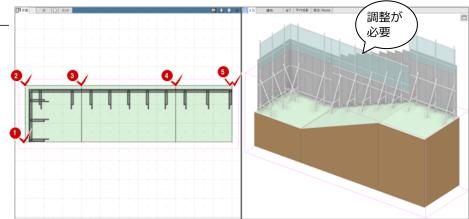
仮設工事

仮囲いの斜面対応

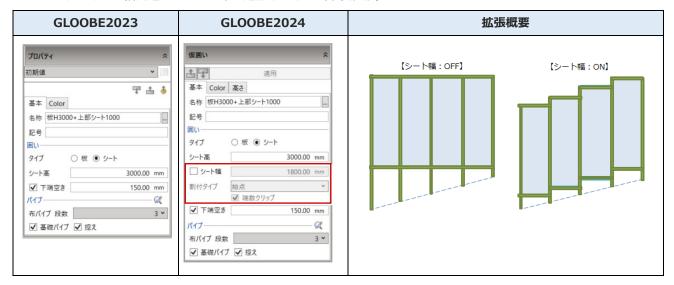
仮囲いの斜面配置に対応しました。 (右図参照)

※詳細は、GLOOBE2024
Construction のヘルプ(仮設工事>
仮囲い)を参照してください。





また、シートタイプに幅関連のプロパティを追加しました(下表参照)



足場マスタのメーカー対応

国内主要メーカーの次世代足場マスタに対応しました。「メーカー足場ダウンロード」で追加・更新します。









足場マスタの拡張

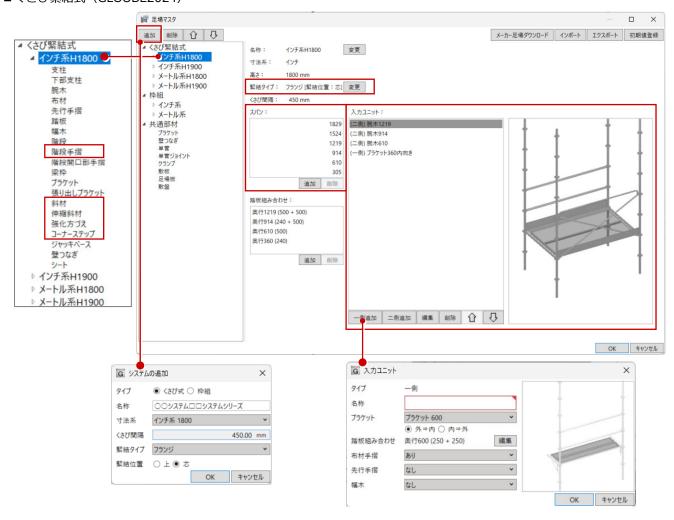
【くさび式足場】

緊結タイプ「フランジ [緊結位置:芯]・フランジ [緊結位置:上]・ポケット(フラット)・ポケット(段差)」を追加し、 入力ユニットで一側・二側、および部材の組み合わせを設定できるようにし、イメージの確認ビューに対応しました。 また、構成する部材を拡張しました。(次頁一覧参照)

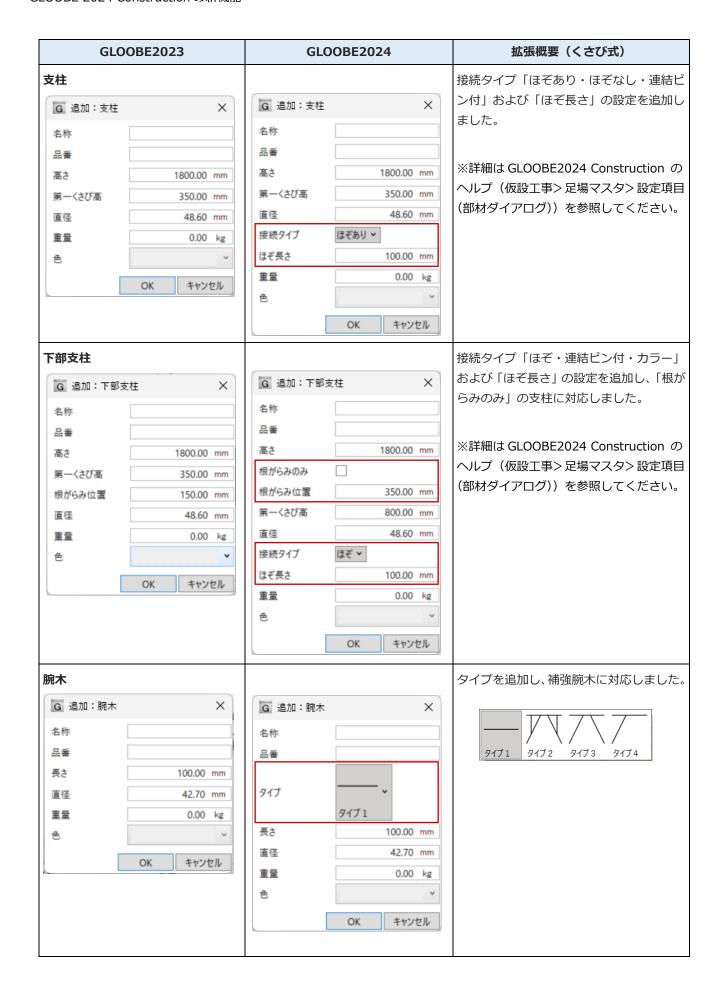
■くさび緊結式(GLOOBE2023)

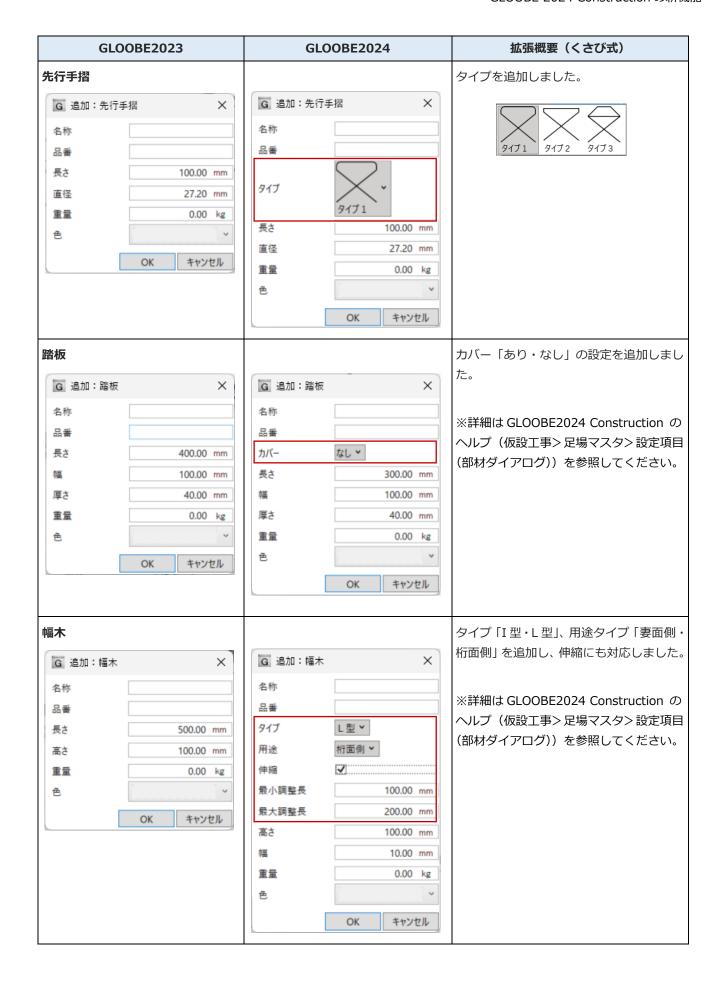


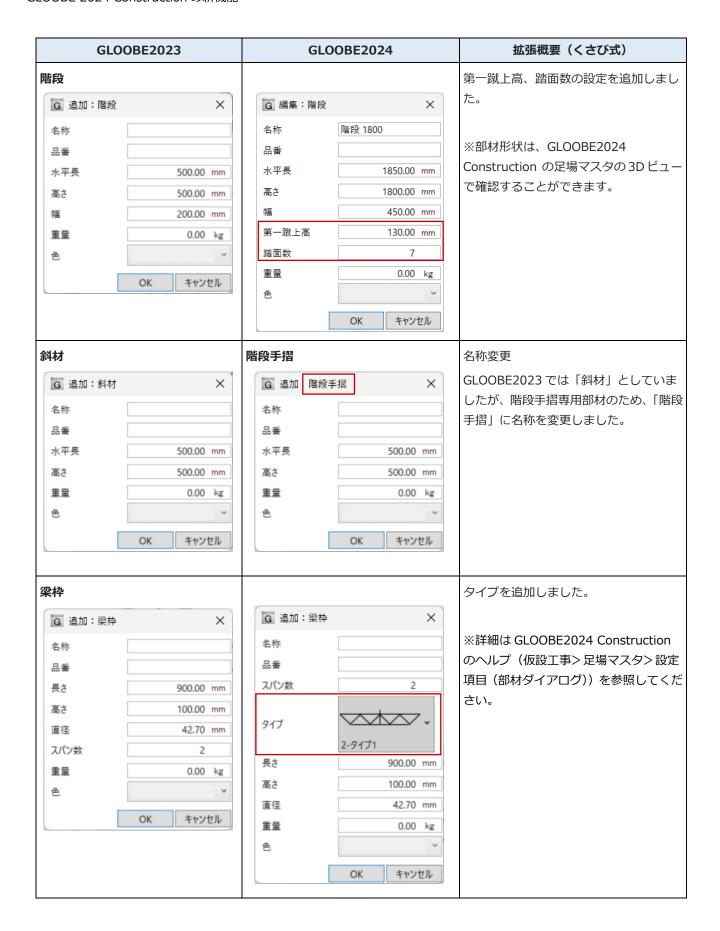
■くさび緊結式(GLOOBE2024)

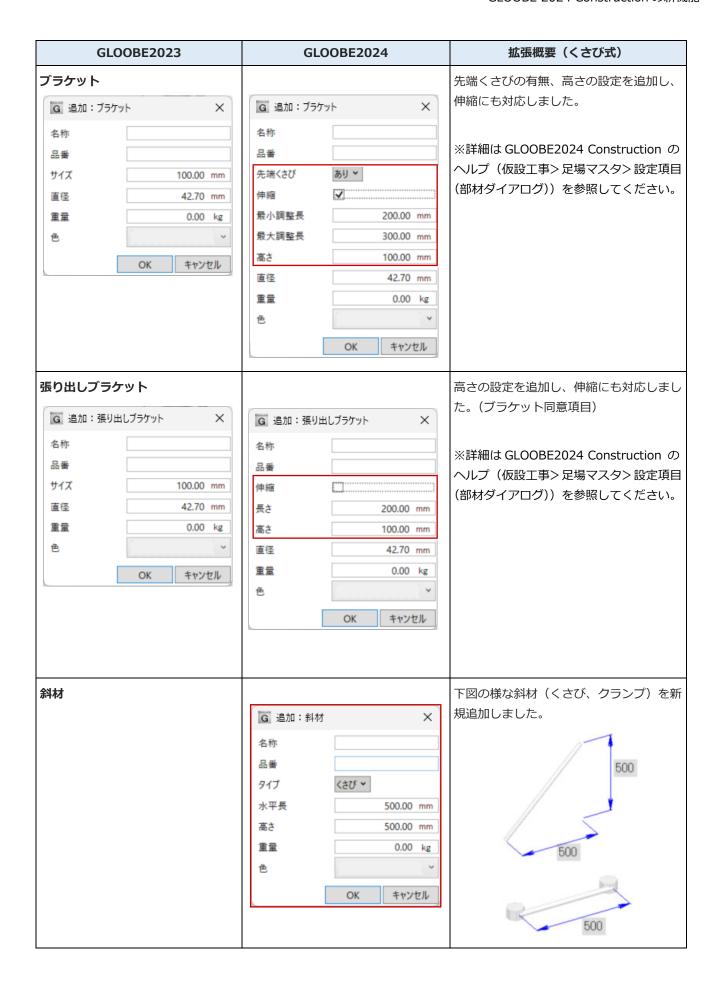


※詳細は、GLOOBE2024 Construction のヘルプ (仮設工事>足場マスタ) を参照してください。

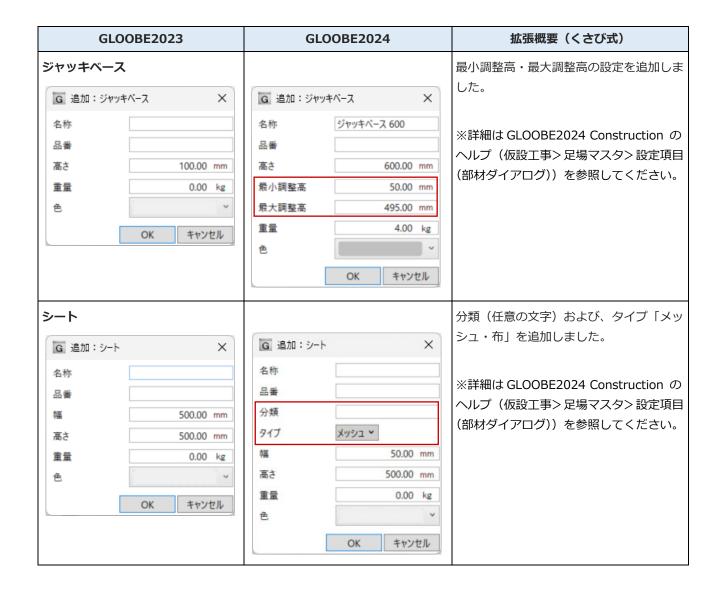








GLOOBE2023	GLOOBE2024		拡張概要(くさび式)
伸縮斜材			下図の様な伸縮斜材を新規追加しました。
	G 追加:伸縮斜材 ×		
	名称	伸縮 300-600	
	品番		
	最小長さ	300.00 mm	600
	調整長	000.00 11111	
	重量	0.00 kg	V=¥4m/± CI QQDF3034 County ±ion (D
	色		※詳細は GLOOBE2024 Construction の ヘルプ (仮設工事> 足場マスタ> 設定項目
		OK キャンセル	(部材ダイアログ)) を参照してください
強化方づえ			下図の様な強化方づえを新規追加しまし
	G 追加:強化力	5づえ ×	た。
	名称	W255×H450	
	묘품		450
	水平長	255.00 mm	
	高さ	450.00 mm	
	色	0.00 12	255
		OK キャンセル	
		11727	
コーナーステップ			下図の様なコーナーステップを新規追加し
	⑥ 追加: コーナー	ステップ ×	ました。
	名称	コーナーステップ 500×285	
	묘품		
	幅	500.00 mm	500
	長さ	285.00 mm 4.90 kg	285
	色	4.90 Rg	200
		OK キャンセル	
		71721	



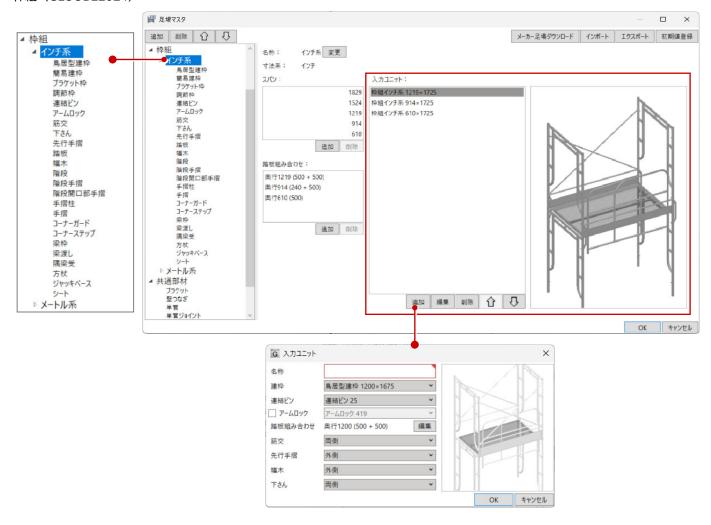
【枠組足場】

入力ユニットの組み合わせイメージを確認できるように対応しました。(下図) また、構成する部材を拡張しました。(次頁一覧参照)

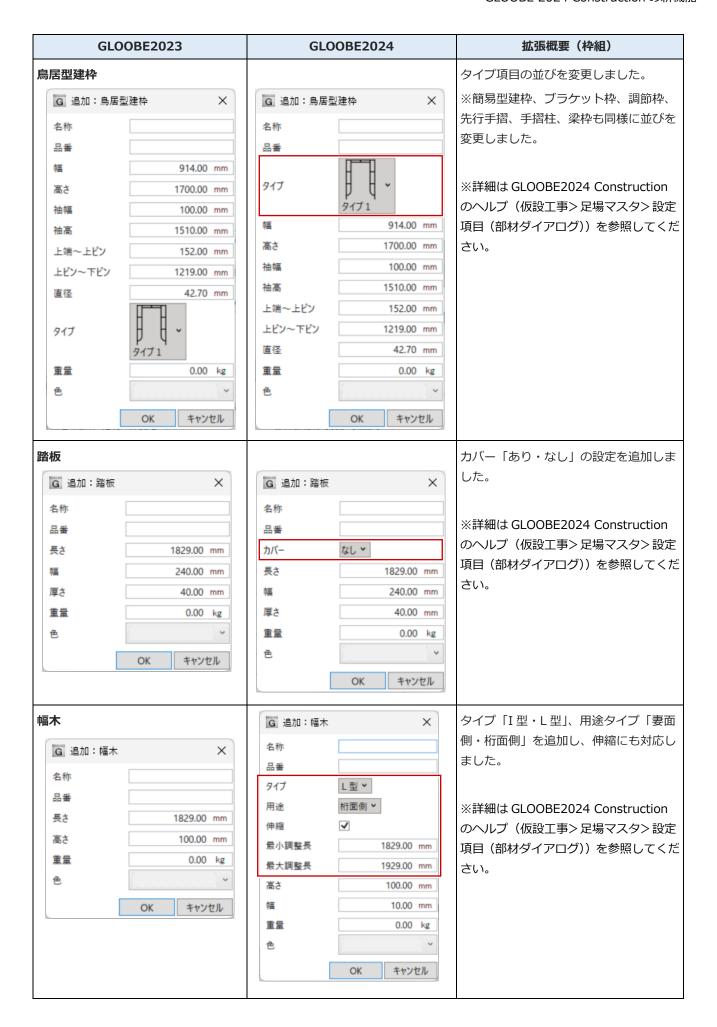
■枠組(GLOOBE2023)

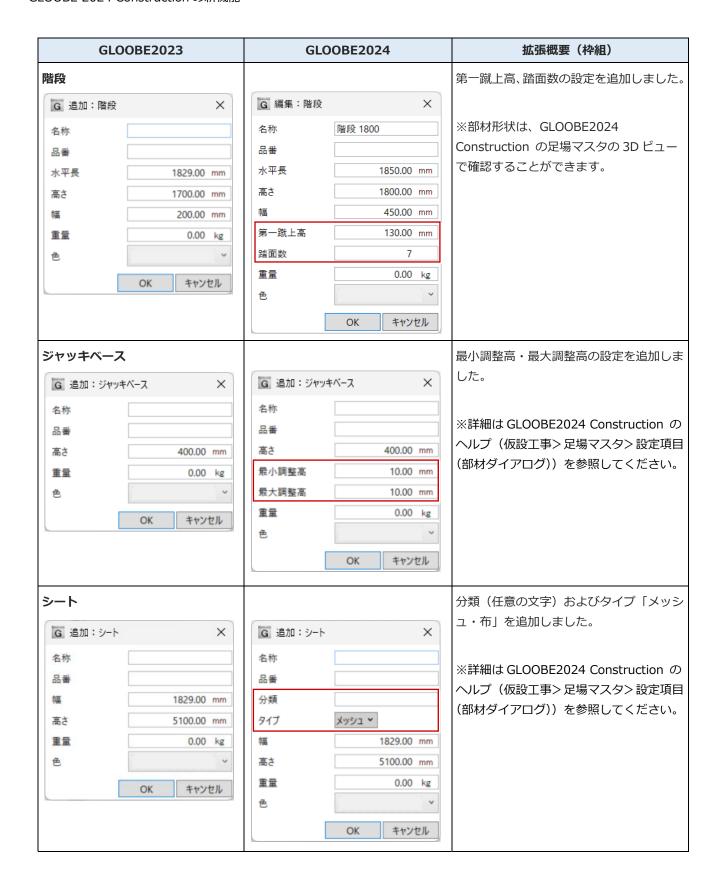


■枠組(GLOOBE2024)



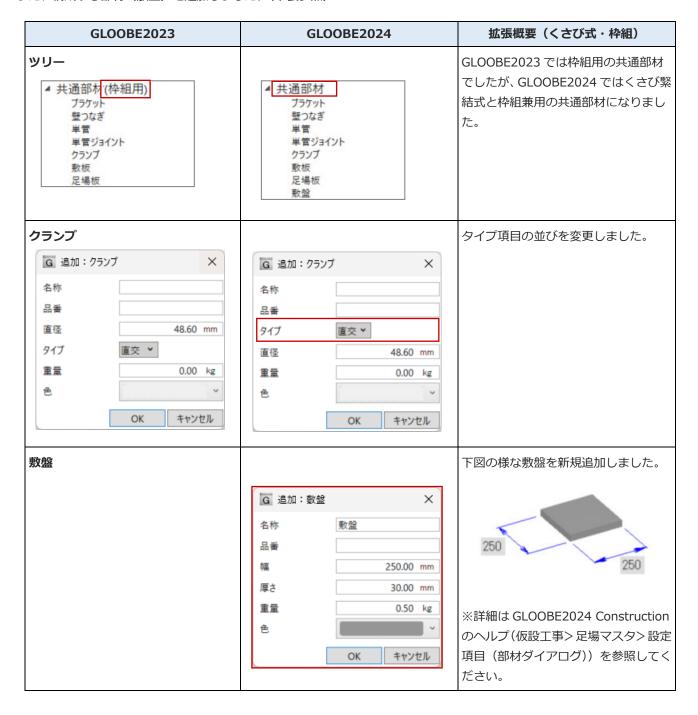
※詳細は、GLOOBE2024 Construction のヘルプ (仮設工事>足場マスタ) を参照してください。





【共通部材】

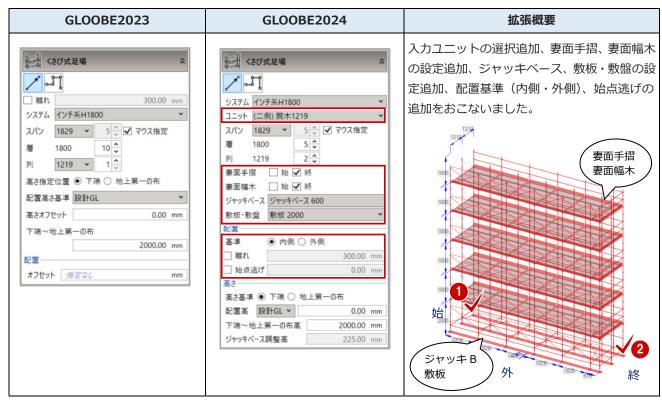
GLOOBE2023 では枠組用の共通部材でしたが、GLOOBE2024 ではくさび緊結式と枠組兼用の共通部材になりました。また、構成する部材(敷盤)を追加しました。(下表参照)



くさび式足場の拡張

足場マスタの拡張にともない、入力設定を改善 しました。





※詳細は、GLOOBE2024 Construction のヘルプ (仮設工事> くさび式足場) を参照してください。

くさび式足場の表示設定

足場編集用ビューのカラー表示設定可能部材 が追加されました。





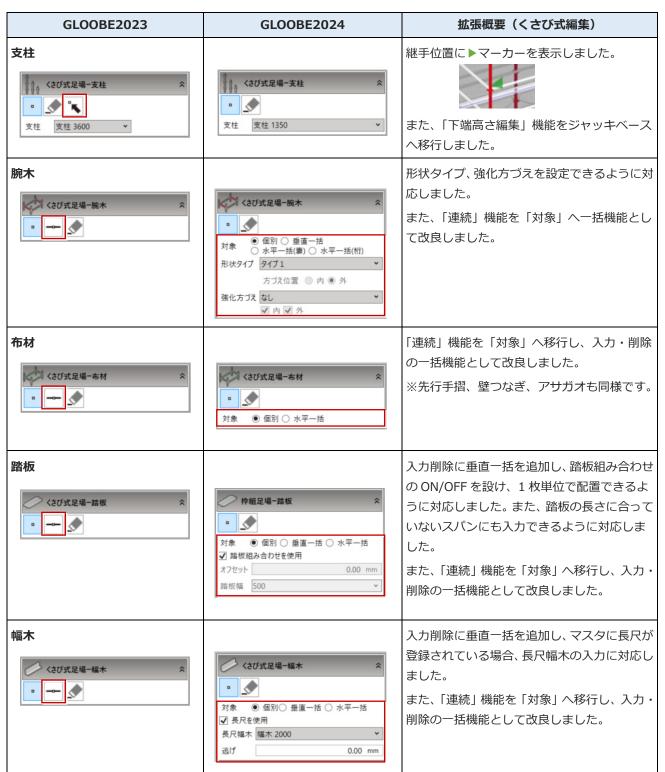
くさび式足場の部材編集強化

足場マスタの拡張にともない、各部材の入力・ 編集機能を追加・改善しました。また、足場編 集画面において、部材の寸法を表示する改善を おこないました。

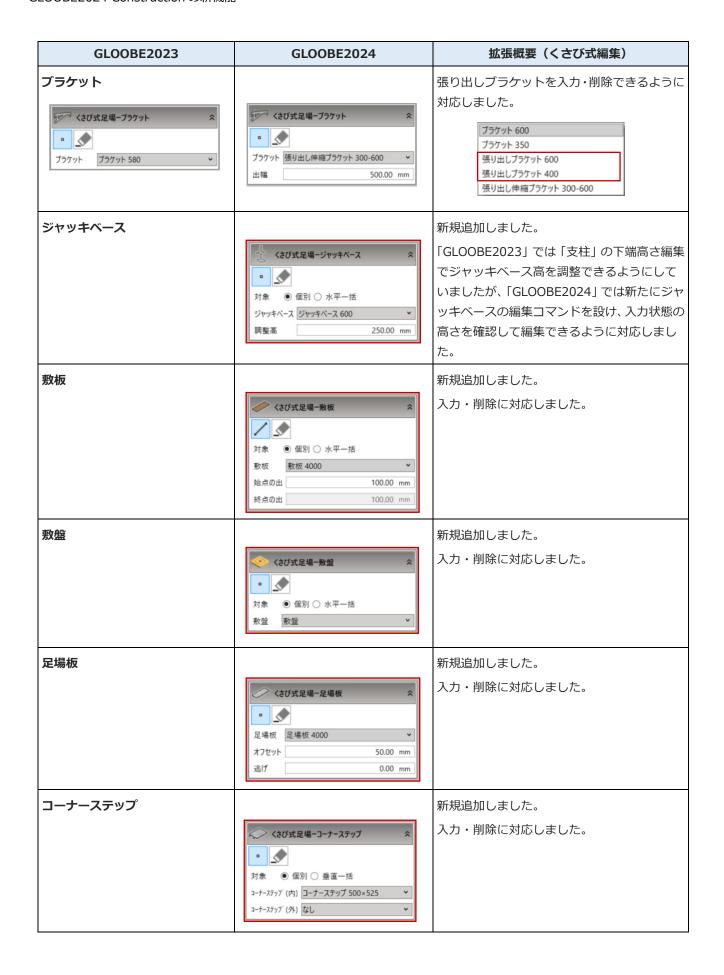


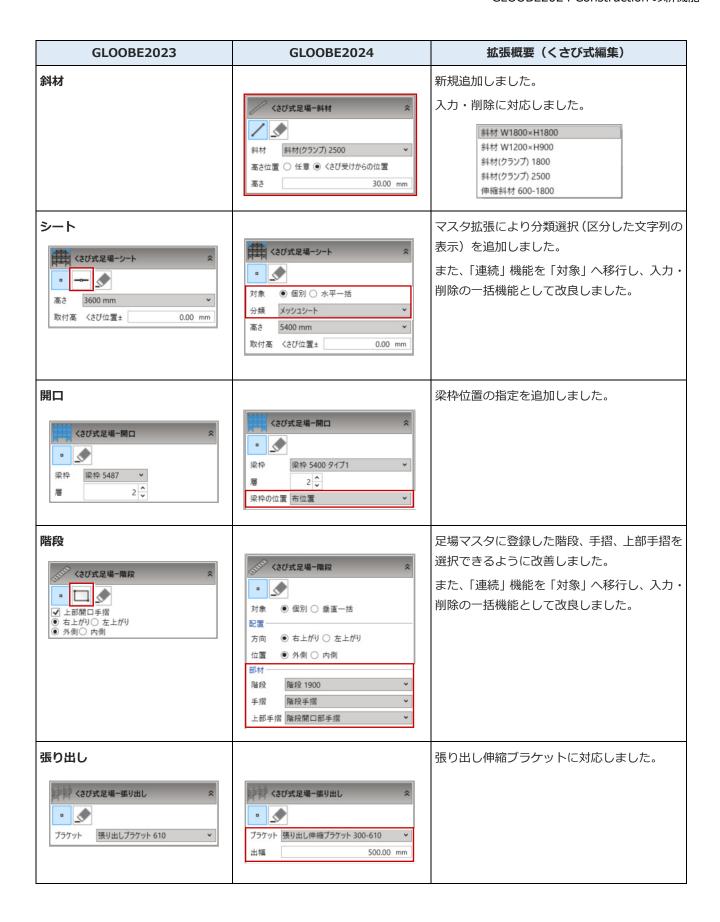






※詳細は、GLOOBE2024 Construction のヘルプ (仮設工事> 足場編集> 支柱/腕木/・・等) を参照してください。



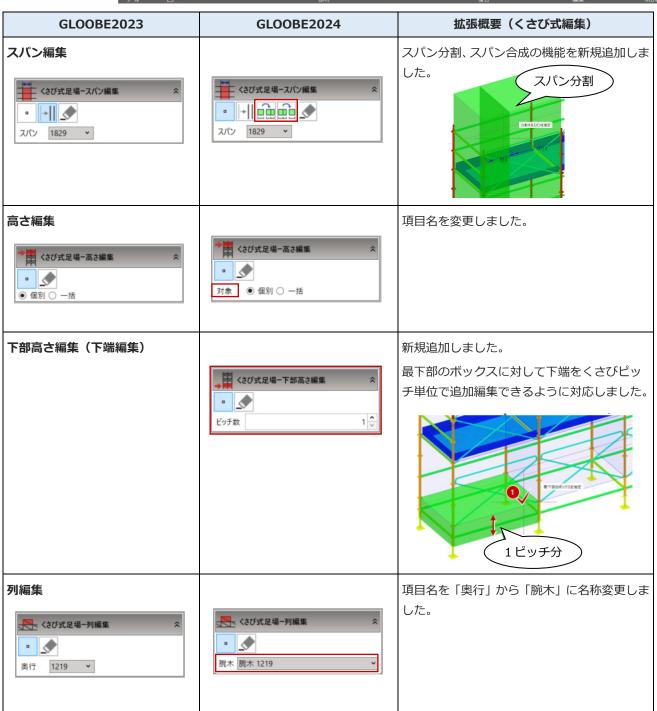


くさび式足場の編集強化

した。

足場マスタの拡張にともない、配置足場の編集 機能を改善しました。また、足場編集画面にお いて、部材の寸法を表示する改善をおこないま



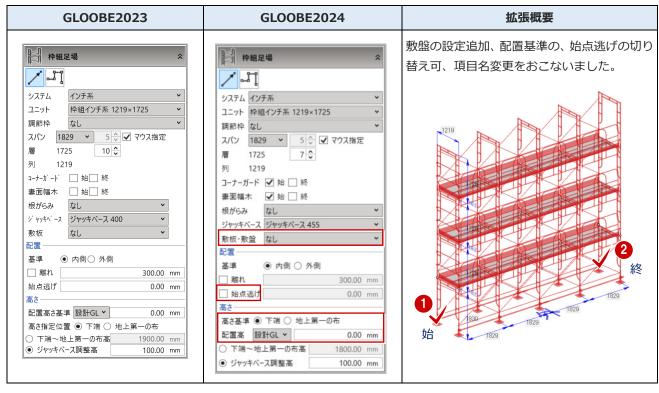


※詳細は、GLOOBE2024 Construction のヘルプ (仮設工事> 足場編集> スパン編集/・・等)を参照してください。

枠組足場の拡張

足場マスタの拡張にともない、入力設定を改善 しました。





※詳細は、GLOOBE2024 Construction のヘルプ (仮設工事>枠組足場)を参照してください。

枠組足場の表示設定

足場編集用ビューのカラー表示設定可能部材 が追加されました。

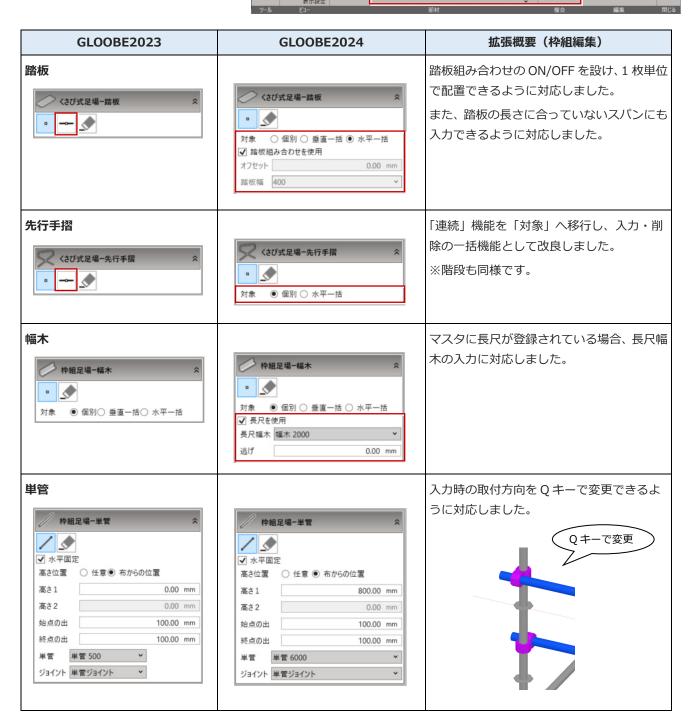


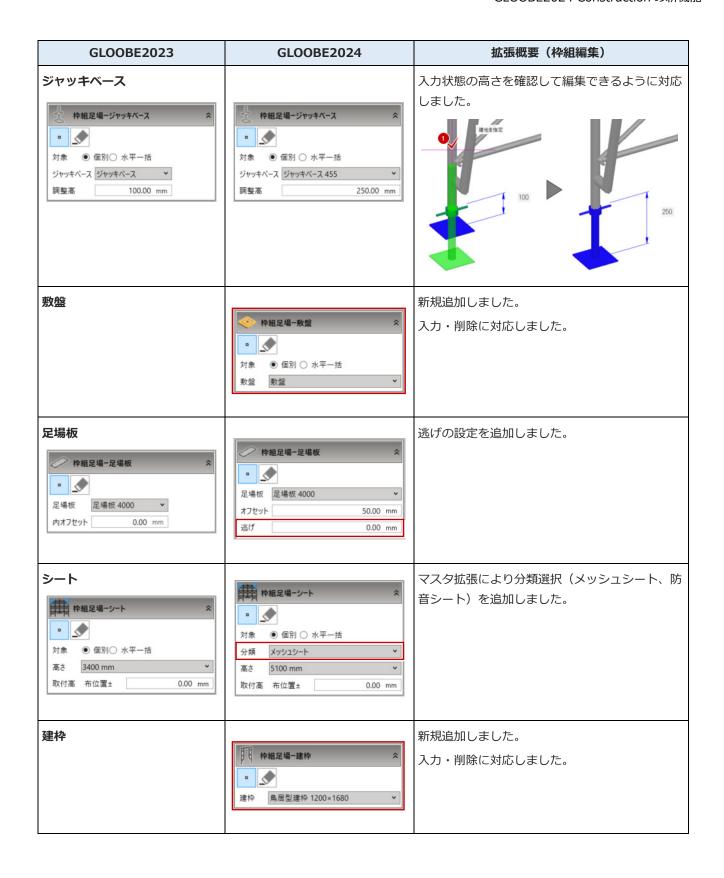


枠組足場の部材編集強化

足場マスタの拡張にともない、各部材の入力・ 編集機能を追加・改善しました。









※詳細は、GLOOBE2024 Construction のヘルプ (仮設工事>足場編集>階段/・・等)を参照してください。

枠組足場の編集強化

足場マスタの拡張にともない、枠組足場の編集 機能を追加・改善しました。



GLOOBE2023	GLOOBE2024	拡張概要(枠組編集)
スパン編集	◆ 枠組足場 -スパン編集	スパン分割、スパン合成の機能を新規追加しました。 ※詳細は、GLOOBE2024 Construction のヘルプ(仮設工事>足場編集>スパン編集)を参照してください。
高さ編集 Page Page	中組足場-高さ編集	項目名、レイアウトを変更しました。

両足場の編集強化

くさび式・枠組足場組みに対して、スパン編集、 接合編集、高さ編集の機能を改善しました。



GLOOBE2023	GLOOBE2024	拡張概要(くさび式・枠組編集)
足場スパン編集	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	■両足場 スパン分割・スパン合成の機能を追加しました。 ※詳細は、GLOOBE2024 Construction のヘルプ (仮設工事> 足場スパン編集)を参照してください。
足場接合編集	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	■くさび式足場 直線上の異なる幅のユニット(例:1219 と 914)の接続に対応しました。 ■両足場 削除に対応しました。
足場高さ合わせ	足場高さ合わせ ダ ジャッキペース下端固定 マースト端固定 マースト端面定	■両足場 ジャッキベース下端固定を追加しました。 ※詳細は、GLOOBE2024 Construction のヘ ルプ(仮設工事>足場高さ合わせ)を参照して ください。

重機・車両の追加

重機・車両のテンプレートへクローラクレーン を追加しました。

※GLOOBE2024 ヘアップする場合、セットアップ時に追加されています。



希望吊り重量に満たないリスト表示

配置したクレーン車の吊り上げる最大重量を確認する時、希望吊り重量に満たないリストを表示するよう に改善しました。



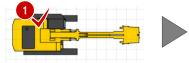
※定格総荷重表の取り込み

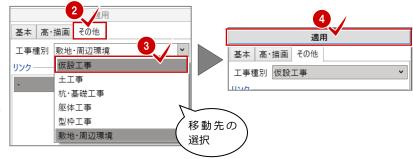
GLOOBE2024 ヘアップする場合、GLOOBE お客様サポートサイトの「インストール」にある「最新版テンプレートの更新方法について(GLOOBE Construction)」を参照してください。

ワークフローの切り替え

GLOOBE2024 Architect 連携後に部品が敷 地・周辺環境に分類されるため、他へ移動可能 としました。

対象要素のプロパティの「その他」より、工事 種別(ワークフロー)を切り替えてください。





土工事

土工事用地盤の参照要素

道路・舗装・緑地を参照して、土工事用地盤(現況地形)を入力することができるように改善しました。



土工事用地盤の領域編集への対応

土工事用地盤のコマンドコレクションに編集機能を追加しました。(CAD 編集と同機能)





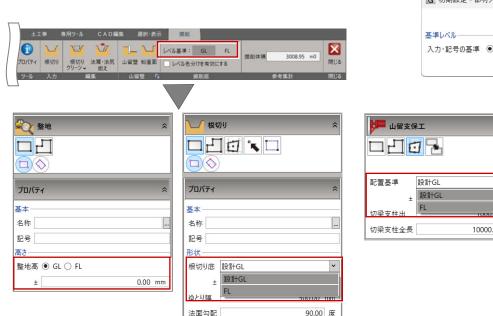


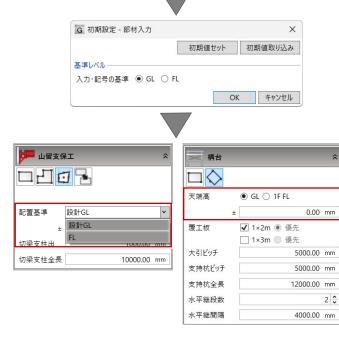
カタログ部品 汎用3D

FL 基準の入力に対応

根切り・整地・山留支保工・構台の FL 基準での入力に対応しました。

特に、「部材入力」の設定は、山留支保工・構台へ連動します。





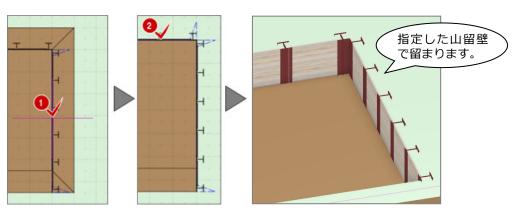
構台 構台編集 重機·車両

掘削鉛直面の対応

山留壁で留める掘削表現に対応しました。



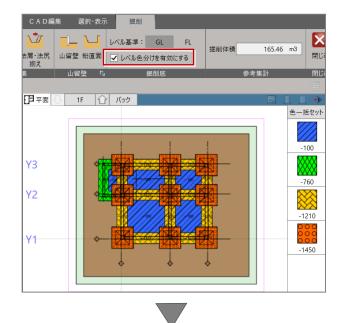


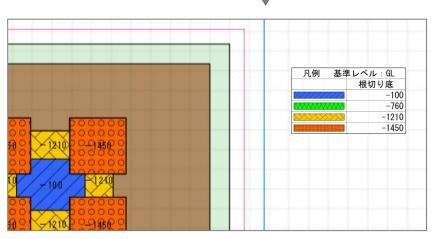


根切り底の凡例表の対応

掘削根切り底の色分け凡例表に対応しました。 なお、色分けをする場合、掘削設計時にレベル 色分けを有効にして、配色を設定しておく必要 があります。

凡例 基	基準レベル: GL	
	根切り底	
	-100	
	-760	
	-1210	
000000000000000000000000000000000000000	-1450	





工程計画

割り当て編集拡張 設備オブジェクト

設備データへの工程割当てに対応しました。IFC などで取り込んだ設備データに工程を割り当てることで、日付コマンドでの 4D シミュレーションが可能になります。



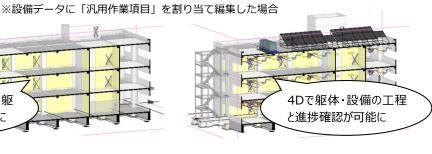












【設備搬入前の工程を 4D で確認】

【設備工程を 4D で確認】

割り当て編集拡張 一括割り当て

複数部材への一括割り当てに対応しました。今まで部材ごとに個別に割り当てしていたものを、一括で割り当て可能になりま す。作業の効率化が図れます。

※対象部材:カタログ部品・汎用オブジェクト・設備オブジェクト



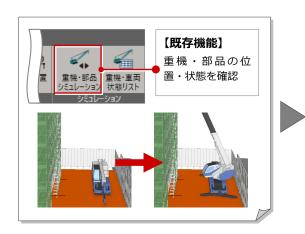
[GLOOBE 2023]

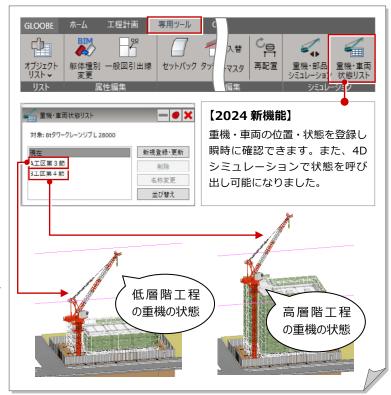


[GLOOBE 2024]

重機・車両状態リスト

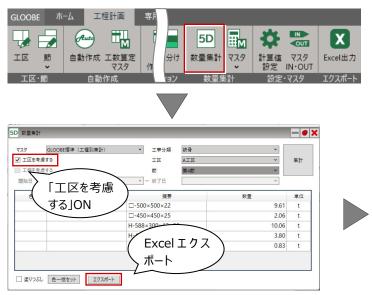
入力されている重機・車両データに、複数の配置位置やシミュレーション状態をリスト登録できるように拡張しました。また、割り当て編集の4D詳細の設定で、登録済のリスト選択による設定に対応しました。A 工区のクレーンの状態や B 工区のクレーンの状態などの登録・確認・シミュレーション作業が改善されます。

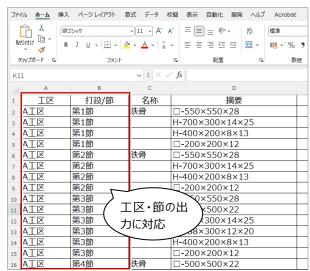




数量集計の Excel 出力改良

工区や節を列として出力するよう改良しました。 Excel での編集が容易になります。





※事前に、工区と節の入力が必要です

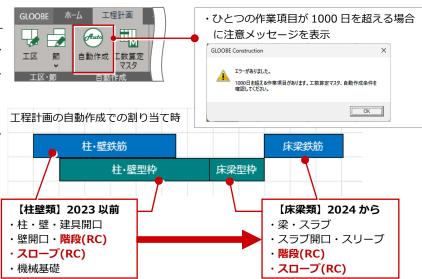
工程表自動作成改良

工数算定マスタの設定に不備がある場合や、ひ とつの作業項目が1000日を超える場合にマス 夕などを確認するエラーメッセージを出し処 理を中断するように改良しました。

マスタ設定ミスによる、長時間処理のストレス を無くすことができます。

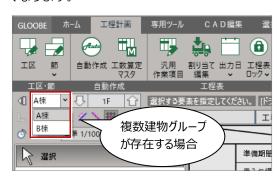
階段/スロープの型枠と鉄筋の作業項目を、柱 壁類から床梁類に変更しました。

一般的な作業工程として自動作成されます。



色分けシミュレーション

複数棟の場合、それぞれの棟グループに設定さ れている工程表作業項目の色で表示するよう改 良しました。敷地内建物全ての色分けが確認で き、プロジェクト全体の状況がより分かりやす くなります。





※バージョン 2024 以前のデータの場合には、工程表の自動作成をおこない更新 が必要です。

日付シミュレーション

複数棟の場合、全ての建物グループを同時にシミュレーションできるよう改良しました。敷地内の全ての建物の工程ステップ が同時に確認でき、建物相互の工程ステップ状況のシミュレーションが可能になります。

- 未設定



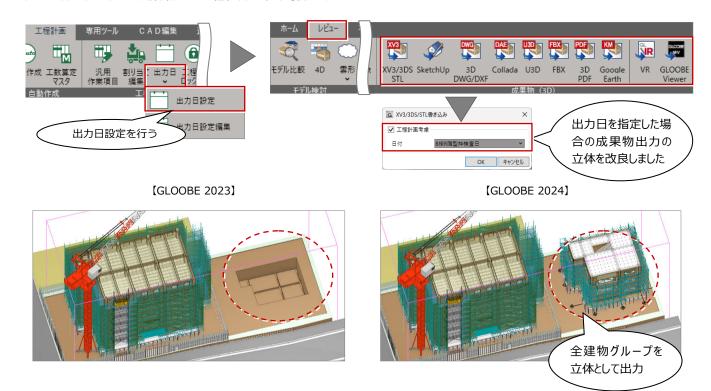




※バージョン 2024 以前のデータの場合には、工程表の自動作成をおこない更新が必要です。

出力日設定

複数棟の場合、図面作成、各種 3D 成果物作成において、全建物グループを対象に設定した出力日で立体作成を行い、出力するよう改良しました。建物相互の工程状況が確認可能になります。



敷地・周辺環境

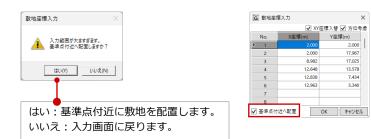
敷地の座標入力の改良

有効範囲の超える敷地の入力

入力した座標値が有効範囲を超える場合でも 位置を調整して配置できるようになりました。 また、「敷地座標入力」ダイアログに「基準点 付近へ配置」の項目を追加し、チェックを ON にすることで基準点付近に敷地を配置するこ とができるようになりました。

座標値のコピー・貼り付け

複数セルを対象としたコピー・貼り付け・切り 取り・削除に対応しました。座標を手入力する 手間が軽減されます。



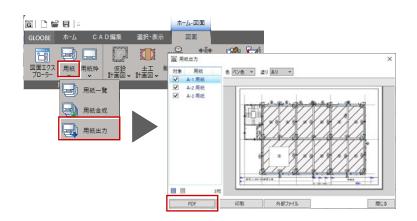


図面・GLOOBE シート

用紙出力で PDF 出力に対応

用紙出力ダイアログに「PDF」ボタンを追加しました。

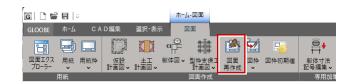
アンテナハウス社製の PDF ドライバー「Antenna House PDF Driver」を利用して、 選択した図面を PDF ファイルに出力できるようになります。

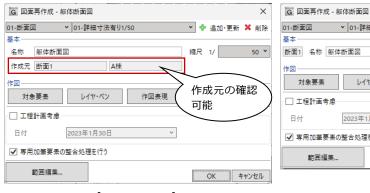


図面再作成で作成元を表示

建物グループが複数ある場合で、断面図や立面 図などを再作成するときに、「図面再作成」ダ イアログに作成元の建物グループが「表示され るようになりました。

範囲編集ウィンドウを開くことなく、作成元が 確認できるようになります。





×

[GLOOBE2024]

G | 🗅 🖆 🖩 |=

専用加筆文字列編集-躯体図記号・躯体図寸法線に対応

図面作成で「専用加筆文字列編集」コマンドを 追加しました。躯体図記号・躯体図寸法線の文 字列を編集できます。



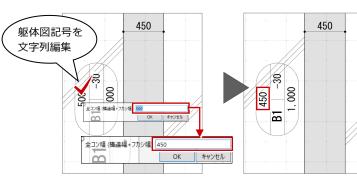
00

8

00

8

ホーム・図面



建物グループごとの作図対応(断面・立面図)

「詳細指定」ウィンドウで断面や立面を作成するときに、画面左上に表示の建物グループで指定した断面線、立面線のみ作図可能になります。指定した建物グループに切えると作図可能になります。

【外部足場立面図 詳細指定ウィンドウ】

